

一般質問 「外国人市民への情報提供について」

【質問者：議員7

議員】

岐阜市には、現在9,500人ほどの外国人市民の皆さまが生活されています。文化、^{しゅうかん}習慣が^{ちが}違う中、日常生活で^{とまど}戸惑われることが多いと思われま。こういった外国人市民の方のために岐阜市が発行している外国人生活ガイドブックの今後の在り方について、ぎふ^{みりょく}魅力づくり^{すいしん}推進部長にお伺いします。

このガイドブックは40ページ程度のもので、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、^{かんこくちょうせんご}韓国朝鮮語、ベトナム語の6か国語版があります。内容は、外国語で対応できる相談窓口、^{こせきせいど}戸籍制度、生活の基本的情報など^{はばひろ}幅広い^{もうら}範囲のことが分かりやすく網羅されています。

現在、これに代わるものとして子育て、教育、健康など分野ごとに分けた外国人生活ハンドブックというコンパクトなものが発行されています。この外国人生活ハンドブックは、ホームページを^{へいよう}併用して見てもらうことを^{ぜんてい}前提としているようですが、情報が^{いっかつ}一括された外国人生活ガイドブックの方が手軽に見ることができます。

ホームページで情報を発信することがあたりまえになっていますが、ホームページの必要な情報にたどり着くことが困難な場合もあります。

手軽に持ち歩けるようにコンパクトにすることももちろん大事ですが、

1冊で全てを見ることができる外国人生活ガイドブックをぜひ復活してほしいと思いますが、ぎふ^{みりよく}魅力づくり推進^{すいしん}部長のお考えをお伺い^{うかが}します。

あわせて、6か国語とした背景、発行部数、現在のように新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症が流行している中での情報を外国人市民にどのように発信しているのかも伺います。

答弁 ぎふ魅力づくり推進部長

【答弁者： ぎふ魅力づくり推進部長1】

外国人市民への情報提供に関するご質問にお答えをいたします。

本市では、岐阜市多文化共生推進基本計画―たぶんかマスタープラン―に基づき、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生社会」の実現に向けた取組を進めております。

重点目標の1つに、外国人市民が必要な情報を得られるまちづくりを掲げ、多言語化の推進や多様な手段による情報提供を行っているところで。

議員が紹介してくださいました外国人生活ガイドブックは、外国人市民にとって必要な生活全般の情報や関係機関の連絡先を掲載した多言語の冊子で、平成30年度に英語、ポルトガル語、韓国朝鮮語版を、令和元年度に中国語とタガログ語版を、令和2年度にベトナム語版をそれぞれ作成しました。発行部数は英語、中国語、タガログ語版が各100部、ポルトガル語、韓国朝鮮語、ベトナム語版が各50部で、本市に暮らす外国人の国籍、人数などの状況を考慮したものとなっています。

加えまして、令和2年度には生活ガイドブックを分野ごとに分け、持ち歩きやすい大きさの生活ハンドブックとして、病院や医療保険について

てまとめたものと、出産、子育て、教育に関するものとの2種類を「やさしい日本語」で新たに発行しました。

【答弁者： ぎふ魅力づくり推進部長2】

本市には、約9,500人、71か国の外国人市民が暮らしており、全ての言語に対応することは難しいことから、情報発信に当たっては「やさしい日本語」も活用し、外国人市民が日本人と同様の情報を得られるよう取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしょう}が流行している中での情報発信についてですが、現在、市ホームページではトップ画面に特設バナーを設け、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしょう}に関する情報や相談窓口などを外国人にも分かりやすく提供しています。

さらに、令和3年度に外国人が必要な生活情報を集約したホームページを新たに開設しました。掲載内容は、生活ガイドブックの内容を参考に、「やさしい日本語」、英語、中国語、タガログ語^{こうちく}で構築しました。

ホームページは紙の冊子等に比べ、素早く情報を更新できることから、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしょう}をはじめ、災害時や変化が激しい社会環境においても最新情報を的確に提供できると考えています。

今後の外国人市民への情報提供につきましては、紙のもの^{かみ}を含め、^{ふく}

じょうほう

情報^{じょうほう}を伝える手段それぞれが持つ長所を生かし、多様な必要性に対応してまいりたいと考えています。

いずれにいたしましても、引き続き多言語化を推進するとともに、多様な手段による分かりやすい情報発信を行い、外国人市民が必要な情報を得られるよう取り組んでまいります。